

## ノイエスだより

ノイエス朝日(朝日印刷工業株式会社)  
前橋市元総社町六七番地  
電話 027・255・3434  
FAX 027・255・3435

ノイエス国道沿いの枯葉を掃除していたら銀杏からのプレゼントが三十粒ほど。ギンナン入り炊き込みご飯で秋の味覚を楽しみました。今年も、天然キノコが福島原発により食の安全性の確保ということの一部出荷停止や安全性を確認してから・・・ということではほとんど店頭には並んでいません。先日は、沼田で舞茸、エリンギ、ハナピラタケを買ってきました。販売している人からハナピラタケの美味しい食べ方を伝授。刺身のように薄く切って湯に通してポン酢で食べるとよいか・・・、実に美味しかったです。

「食欲の秋」という事で「ノイエスだより」も久しぶりに食の話で始まってしまいました。「芸術の秋」で展覧会も県内外で数多く実施されています。「読書の秋」とはいえ、活字離れが急激に進み出版業界も厳しい時代をむかえ、ネット社会で情報が溢れ、端末機器を使いきれないと日常生活も過ごせなくなってくる時代が来るのか・・・とも感じます。パソコンや携帯電話に振り回されずに本来、人が生活する姿を取り戻さなくてはと思う毎日です。過剰情報や多面的社会の複雑さに人間の神経がどれほど耐え切れるのかわかりません。

そんな時、自然と向き合うことで足元をしつかりと見て生活をするこの大切さを再認識します。若い時は、それなりに判断し、無我夢中でやってしまったことが、年齢を重ねていくことに冷静に判断して多くの経験から選択し実行していく自分なりの方法論を探している自分の姿を見ます。人と人のつき合いも年齢とともに身体、性格、環境の変化によって小さな問題がおきたり、ある程度の距離をおいて上手く付き合っている人もいますが微妙な問題です。

最近、鶴見和子の文章に南方熊楠の「萃点の思想」の事が書いてあり非常に興味を持ちました。「萃(すい)」とは、「あつめる」の意があり、一つ一つの線は、物事の真理への具体的な個々の道筋を表していて、こうした道筋には真理にたどり着きやすいものと、そうでないものがあり最も線(道筋)が多く交差するポイントを萃点と呼んでいます。鶴見和子は「萃点移動」と書いていますが、萃点はいつも一つではなく移動してもいいというゆとりがあり、固定しなければならぬという考えではないといえます。日常の多くの問題の鍵は意外にも「萃点の思想」にあるような気にもなりますが・・・ふっと思い出しました二十年以上も前に国立科学博物館での「南方熊楠展」で不思議な図を見た記憶があります。(武藤)

### ノイエス朝日の展覧会

オハイオからのおくりもの

会期 十一月二十三日(金・祝)～十二月二日(日)  
午前十時～午後五時

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

### 南雲陶家 ― 技の競演 ―

南雲 龍 田中弓月 南雲龍比古  
辻垣内聖 今井 彰

会期 十二月八日(土)～十六日(日)  
午前十時～午後五時

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

ノイエス朝日の年末・年始休暇のお知らせ

十二月二十九日(土)～一月六日(日)

\* 展覧会会期中以外は、閉廊しています。

### デジタルカメラ講座 朝日印刷 DiP.S. A

日時 十二月一日(土) 午前十時～十二時(受付九時半)

会場 DiP.S. A 二階  
定員 四十名様(先着順)

受講料無料

講師 富沢充芳

申し込み ディップス朝日

ファックス(027・254・1227)  
または電話(027・254・1212) 月曜～金曜

### 新刊のご案内

生誕一三〇年記念

上州の探検家・矢島保彦

― 中国・西藏30,000kmの旅 ―

小松健一写真報告集 限定版

定価二〇〇〇円(税込)

取扱い ノイエス朝日・ディップス朝日

\* 郵送ご希望の場合は、DiP.S. Aにお電話下さい。

送料が別途かかります。

電話 027・254・1212(担当・橋本)

今からおよそ一〇〇年前に四川省からのルートで初めて外国人としてチベットに入った群馬県出身の探検家矢島保彦の歩いた道程を写真家、小松健一氏が再び歩きました。その距離三〇〇〇キロ。その記録と写真が一冊の本にまとまりました。今だから是非手にとってご覧いただきたいと思えます。展覧会(十一月十日～十八日までノイエス朝日にて開催)限定版としての貴重な写真報告集です。

### ノイエスのティータイム



時々、友人に柿をいただきます。昔、おばあさんが夜は冷えるから柿は食べないほうがいいよ・・・と。とても食べきれないので最近では千切りにしたりサイコロ風に切ってサラダに入れて楽しんでいきます。オリブオイルとポン酢を少しかけるだけで、甘みがあり、なかなかのサラダです。ノイエスで何度か展覧会をしている木村明さんのサラダボールに入れてみたら何ということでしょう。宝石を散りばめたようなサラダになりました。そろそろ、十二月。クリスマスでも作るのかな?と少女のような気持ちになるこの頃です。